富士市教育委員会会議　４月	定　例　会 臨　時　会	会　議　録 （令和５年）

開催日	会議場
令和５年４月２１日　金曜日 開　会　　１３時３０分 閉　会　　１５時２６分	市庁舎５階 第２会議室

出席委員の氏名

教　育　長	森　田　嘉　幸	委　　員	松　田　靖　子
教育長職務代理者	和久田　惠　子	委　　員	塩　谷　知　一
委　　員	篠　原　　均		

出席職員等の氏名

教育総務課長	味　岡　俊　雄	教育研修・特別支援教育センター所長	檜　木　小重美
学校教育課長	齋　藤　文　徳	青少年相談センター所長	川　口　壽　彦
学務課長	村　嶋　　博	博物館長	植　松　良　夫
社会教育課長	吉　田　和　洋	教育総務課調整主幹	小長谷　　聡
文化財課	久保田　伸　彦	教育総務課参事補	吉　村　直　也
中央図書館長	大　川　英　子	教育総務課指導主事	瀧　　南
富士市立高校事務長	榎　　俊　英	教育総務課指導主事	山　田　英　雄
			傍聴人　なし

開会

会議録の承認

教育総務課長の報告要旨

教育総務課長	○新任所属長等の自己紹介 ・学務課長、富士市立高校事務長、教育研修・特別支援教育センター所長の順番に自己紹介

議題（動議）及び議事の大要

議第 15 号	○令和５年度教育行政の方針と施策について
（説明）	・教育総務課長、学校教育課長、教育研修・特別支援教育センター所長、学務課長、富士市立高等学校事務長、社会教育課長、中央図書館長、文化財課、青少年相談センター所長、博物館長
(質問･意見等)	→１ページ目のリニューアルする青少年体験事業の開催、整備に下線部が引かれているが、４ページには具体的な説明ない。どのような取組で、何に充実を図るのか説明してほしい。
（回答）	→これは無限のキズナのことである。初めての事業であり、実行委員との協力体制を維持して、効果のあるものとしたい。
(質問･意見等)	→方針１の１の各施策の重点事業に掲載されているが、この記載では無限のキズナとは分からない。方針３に書いてあるという記載が必要ではないか。
（回答）	→できる限り対応するページを表記したいが、複数の箇所に関係する

	場合もあり完全にできるかどうか分からない。関連ページを載せるようにする。
(質問･意見等)	→引用している部分について参照する資料をつけてほしい。 また、市立高校のところではウェルビーイングの視点を意識したキャリア教育という言葉があるが、他のところでは、キャリア教育という単語自体使われていない。「明日を拓く輝く「ふじの人」づくり」には社会観や職業観を育むことやキャリア教育は欠かせないため、それはどこに含まれるのか。
(回答)	→キャリア教育も重要なことである。関係する課と協議し、掲載について確認する。
(質問･意見等)	→職業を知ることや、社会人になった時のことを子どものうちから教育する必要がある。そこに関連して富士市の産業を教えることも富士市の教育の中では非常に大事なことであり、扱っていただきたい。
(回答)	→説明書きについては、極力、脚注を付けるようにした。記載がない場合は、紙面の関係もあるが、巻末に加えられればと思う。
(質問･意見等)	→この冊子に付けてほしいのではなく、参考として別添で資料が欲しいということである。
(回答)	→コラムとしてか。
(質問･意見等)	→何か資料があるといいなと思った。無理やりこの冊子に加えてほしいということではない。
(質問･意見等)	→４ページの施策２にでてくる連携推進員は何名いるのか。
(回答)	→連携推進員の方は各小中学校で１名ずつ、主幹教諭や教務主任が担当している。
(質問･意見等)	→６ページの施策②の実績の数値の見方が分からない。
(回答)	→サポート員研修会の満足度を５段階のアンケートで取っている。
(質問･意見等)	→５段階の平均値ということか。
(回答)	→５段階評価の平均値と変更する。
(質問･意見等)	→「キャリア教育イコール仕事を選ぶ」ではなく、キャリア教育という言葉の使い方が以前よりも幅広くなってきていると思う。できるだけ文に取り入れ、我々も慣れていくことが大事と感じた。
(質問･意見等)	→キャリア教育が単に職業選定ではなく、人生設計のような、生きる姿や自分自身の未来を切り開き、想像する能力の育成がこれからのキャリア教育に求められていると思う。このことを反映することはできるか。
(回答)	→キャリア教育であるため、SDGｓのところや豊かな心の育成、主体的に学ぶ力の育成など入れるところは多岐にわたる。今、学校では、発達段階に応じたキャリア教育を行うため、キャリアパスポートというものを行っている。１年間、キャリア育成に関するどのような

	取組をしたのか、ファイリングして次の学年に引き継ぐようにしている。前年度までにキャリアパスポートを参考にして、継続してキャリア育成に取り組んでいる。次年度に向けてどの項目に加えるか検討して行く。
(質問･意見等)	→少しでも修正できるように検討していただきたい。市立高校のところに記載のあるウェルビーイングという言葉も参考になると思うので、学校教育、小中学校の教育への反映を検討してほしい。
(質問･意見等)	→個々の部分はよくできていると思うが、この冊子は読みにくいので家庭に配布しても読まれないと思う。巻末のグランドデザインはきれいに分かれており、ここに関連するページ数が入れば読みやすくなると思う。ぜひ誰にでも見やすい形にしてもらいたい。 また、家庭や親、PTAとの関係の記述がほぼない。家庭や親、PTAとの連携も大切で必要なことであるので、どこかに加えてほしい。
(回答)	→関連ページを掲載する件については、関係するページが複数に渡る場合もあると思うが、できる限り掲載するようにする。
(回答)	→PTAは学校と直接に連携を図っている。学校教育以外のところは基本的には社会教育となる。家庭教育に関しては17ページで地域ぐるみの社会教育の推進という施策②で触れている。学校教育と家庭教育、そして地域の教育、この３つの連携が非常に重要だと捉えている。そのため家庭教育も私たちは大事と考えており、今何ができるか考えながら取り組んでいる。
(質問･意見等)	→PTAと家庭、地域との連携について見直す必要があるか検討していただきたい。
(質問･意見等)	→２ページ目、方針２の４、教職員の時間外在校等時間の適切な管理と働き方改革の項目については、この会議でも議論になることがあり、喫緊の課題と思っており、これも下線で充実を図るべき取組にあげるべきではないか。これは先生方を守るというメッセージの発信にもなると思う。また不祥事根絶研修もコンプライアンスの強化という点から下線部でもいいと思うので、検討いただきたい。さらに、８ページ目、方針２の施策の柱１、特別支援教育の段落では、インクルーシブ教育という言葉が出てきているが、これも注釈つけ、どのようなことを指すのか丁寧な説明があった方がいいと思う。
(回答)	→働き方改革とは部活動改革等とも関係する話であり、どちらも重要な話である。もしこの場で意見がなければ下線を引かせていただく。インクルーシブ教育については、昨年度も総合教育会議で議題になるなど一般用語的に捉えていたところがある。脚注を付けさせていただく。
(質問･意見等)	→９ページの施策の柱２の文中の、教師は「『子供と教材をつむぐ』単

	元を構想する」「『見取り』を生かし、仕掛ける」「『学びの実感』を次へつなぐ」ということについて説明してほしい。
（回答）	→令和４年度まで指導の重点は、「子供の姿が見える単元構造」、「問いに寄り添う見取りと関わり」、「学びの実感の共有」であった。ここを今年度、更に深化させたいという思いがあり、このような表現にした。この点を富士市の先生方には強く意識して取り組んでほしい。
(質問･意見等)	→「子供と教材をつむぐ」とはどういうことか。
（回答）	→授業における教材をただの知識としてではなく、子どもたちの実生活や社会生活と関連させて学習をしていきたい、そういう意味での「つむぐ」である。次の「仕掛ける」は、子どもたちがつまずいている、興味を持っているといった見取りをしたときに、次のステップに活かすために教師がアクションを起こす、という意味である。
(質問･意見等)	→説明を受ければ分かるが、この文面を読むだけでは分からない。
（回答）	→学校には、この解説をA4の用紙の両面に印刷して配布している。
(質問･意見等)	→保護者など、学校関係者以外の方は分からないと思う。
（回答）	→この指導の重点は学校の先生向けに授業の方針を示している。そのため、保護者向けの内容ではない。ただ、ここに載せると分からない内容である。
(質問･意見等)	→今のような解説を入れてほしいが、文が長くなってしまう。
(質問･意見等)	→「子供と教材をつむぐ」や「見取りを生かして仕掛ける」といった表現は、学校現場にいないと具体的なイメージは分かないと思う。それでは優しい文章ではない。この部分の表現を平易にしたり、指導の重点の一部を参考資料として付けたりするなど表現の工夫や改善をしてほしい。
(質問･意見等)	→11ページ、施策①の４番目に子どもたちが栄養バランスのとれた食事の大切さを認識できるように、食に関する指導の充実という分がある。子どもも食の大切さを認識できるとはいえ、実際には保護者向けであると思う。その場合、指導という言葉が適切か気になった。教育の充実とかに変えればいいのではないか。
（回答）	→あくまでも子ども向けを意識して作成した。例えば、家庭科や保健体育の授業の時に、教員だけではなくて栄養士も加わって食について指導するというイメージである。しかし、今の指摘のように家庭、保護者も含め、食に関する教育にしてもよいかと思う。
(質問･意見等)	→指導のままの方が意図として合うのか、それとも、家庭や社会全体に向けてよりよい食生活や生活改善を促すという意味を含めて教育の方がいいのか、文言の検討をしてほしい。
（回答）	→食に関する指導の充実という言葉は、文科省から食に関する指導の全体計画の作成について指示があり、各教科において食に関する指

	導を行っている。そのため、保護者向けではなく、学校において各教科や総合学習での指導という意味である。
(質問･意見等)	→大項目の人づくりの施策に含まれるので、最大の目標は人づくりである。その感覚で読んだため、気になってしまった。このままであっても成果は出るので検討するかしないかは任せる。
(質問･意見等)	→市民大学には何回か参加させてもらったが、非常にいいと思っている。もっと多くの人が参加してもいいかと思うので、もう少しインパクトのある宣伝や広報に努めてもらいたい。
(回答)	→これまで市民大学の後期講演会はラ・ホール富士やロゼシアターの大ホール、中ホールで行っていた。講師として知名度のある方に依頼すれば多くの方に来ていただけることは分かっているが、それだけでは教育的な効果が期待できるか分からない。多くの方に参加してほしい一方で、様々な講師に出ていただきたいとも考えている。いただいた指摘を糧に魅力的なものにしていく。
(質問･意見等)	→予算が理由だったり、単に集客が目的だったりではないことは良く分かった。広報に力を入れてほしいと思う。
(回答)	→広報も課題だと考えている。アンケートでは、広報ふじを見て参加する方が１番多い。他にも町内での回覧やポスターの掲示をしている。昨年度は新しい取組としてデジタル広告を行った。例えばGoogleやyahooなどで市民大学の広告が表示された。今までにない新しい取組だったが、アンケートの結果は振るわなかった。しかし、効果がないとは思わない。今後もいろいろな方法を考え、広報に努める。
(質問･意見等)	→全般において、いろいろな指摘、提案があったが、26日の説明会まで時間があるのでできる限り修正等を加えてほしい。
(議決)	→承認
議第 16 号	○富士市文化財保護審議会委員の委嘱について
(説明)	・文化財課長
(議決)	→承認
報第４号	○令和４年度富士市教育長表彰受賞者の追加決定について
(説明)	・教育総務課長
(了承)	→了承
各課等の報告・予定事項	
閉会	